

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
エジソンSTEMラボ		2025年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・部屋が限られているので気持ちの切り替えや落ち着く部屋として使える ・施設自体が広い作りの為伸び伸びと利用できている	・スペースは十分にあり小部屋もあるので良いと思う。ドアが多いのでケガをしないように注意が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	25%	75%		・時間帯によっては人手が足りない。定員人数に対しては適切だと思えるが、職員の人数に余裕がないので休みが取れない。 ・送迎時、教室にスタッフが1人しか残らない場合がほとんどで1階から2階まで全てを見回る事ができない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	・施設内の手すりや、足の不自由な子や車椅子利用の子が使いやすいよう設計されている	・教室や特に階段など全体的に暗い ・玄関には階段だけでなくスロープもある。視覚的な支援が少なく感じるので、随時改善が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・毎日アルコール消毒や掃除を行なっている ・建物も新しいので清潔感はあると思う。	・机や椅子が利用する子どもの大きさに合っていない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・ドアを開けて密室にできる部屋が複数あるので対応しやすい ・自由に使える小部屋がある。 ・個室が完備されている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・毎週金曜日に会議をして確認している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・毎年のアンケートの他、定期的なモニタリングや連絡帳でコミュニケーションをとり、支援に反映させている。 ・連絡帳や電話で保護者と連絡をしている・その都度会議を開いている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・毎週教室会議が行われている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		・何かアンケートとるなどで対応
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・社内外での研修に参加している	
適応	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・支援計画をたてている、その内容を毎週会議で共有している ・現代に則って工夫してプログラムを作っている	・公表は現時点ではまだ
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・入所時に子どもと保護者と話し合いをしている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50%	50%	・毎週会議で話し合っている	・作成する過程での検討は行われていない。今後取り入れていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・毎週会議で話し合っている	・短時間で多くの子どもの計画を立てたので対応の質が低い部分があるように感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	・連絡帳アプリを使用している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	75%	25%	・小さな、具体的な取り組みを目標にしている ・保護者と電話や面談で話し合い決めている	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%	・教室会議や講師の先生の意見も踏まえて改善している ・定期的に会議で話している	・各プログラム担当が個人単位
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・流行りのものを取り入れたり子どもの興味に合わせている ・シラバスを制作し、計画を立てている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	・子どもの特性に合わせて考えている ・一人一人に合わせた内容にしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	・毎週会議で話し合っている	・頻度を増やそうと思う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	・毎週会議で話し合っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・連絡帳アプリを使用している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・半年に一度モニタリングを行なっている ・支援計画の更新をしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	75%	25%	・レジュメを更新した	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・いくつかプログラムを用意して選択してもらっている ・子どもに合わせた話し方、聞き方をしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75%	25%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	・外部の人が来所し、コンパスが上手く使えない子どもと関わっていた	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・通学している学校の担当教員とその日の様子を話し合ってから預かっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		・したことがないので検討する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	・地域のeスポーツ大会に出場している	・今後検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・コミュニケーションをとるようにしている ・送迎時に話し合いをしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	・家ででもできる取り組みがあれば紹介している ・ミライダイアリーで行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	75%	25%	・利用する前に話している ・契約の際に説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・子どもとの会話や、保護者の方への聞き取りをしている ・体験、見学时に説明をしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・体験、見学时に行なっている	・同意は得ているが、示しながらの説明はできていない

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画などで行なっている 受験の相談などを過去に受けた 	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	25%	75%		・今後検討したい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・その日に共有して行動している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> InstagramやTikTokで行っている InstagramやHPを使っている 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・施設外に持ち出す物には伏せ字を使っている	・スタッフルームの机に出しっぱなしのことがあるので注意する
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ミライダイアリーなどで行なっている 特性に合わせている 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	・招待はしていないがイベントで交流はしている	・今後検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の準備をしているがまだ行っていない 家族への周知がどこまで出来ているか分からない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連絡を取り合い行なっている 基本情報シートに記入欄がある 	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	・入所時に確認している	・エビベンを教室に保管するなどの必要がある子どもが現在はいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%	・アルコール消毒などで行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ミライダイアリーで行っている 入所時に確認している 	・どこまで周知できているか分からない部分がある
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%	・書類などを記入している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> 勉強会などを行なっている 社内研修をしている 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%		